

星陵高 創立80年で記念式典



ショスタコービッチの「祝典序曲」を奏でる吹奏楽部員＝星陵高校

演奏や歌で節目祝う

垂水区

創立80周年を迎えた星陵高校（垂水区星陵台4）が11日、同校で記念式典を開いた。全校生徒約800人のほか、卒業生や歴代校長らが出席。記念演奏を楽しみながら節目を祝った。

同校の前身である旧制第4神戸中学校は、1941年に開校。これまでに3万人超が巣立ち、経済評論家や作家ら数多くの著名人を輩出している。

瀬尾幸司校長は式辞で80年の歩みを振り返り、「さらに格調高い、創造的な校風の樹立にまい進する」と

あいさつ。記念演奏では、吹奏楽部がショスタコービッチの「祝典序曲」を会場に響かせ、明るい音色で会場の熱気を高めた。

卒業生の一人は、管楽器の一つ「**箏**」を持参し、在校生のピアノ伴奏に合わせてロックバンド・ラッドウィンプスの「なんでもないや」を披露。コーラス部が校歌を合唱し、式典を締めくくった。

生徒会長の2年桑名紗英さん(16)は「伝統を大切にしつつ、私たちの色も出していきたい」と話していた。

（大橋凜太郎）